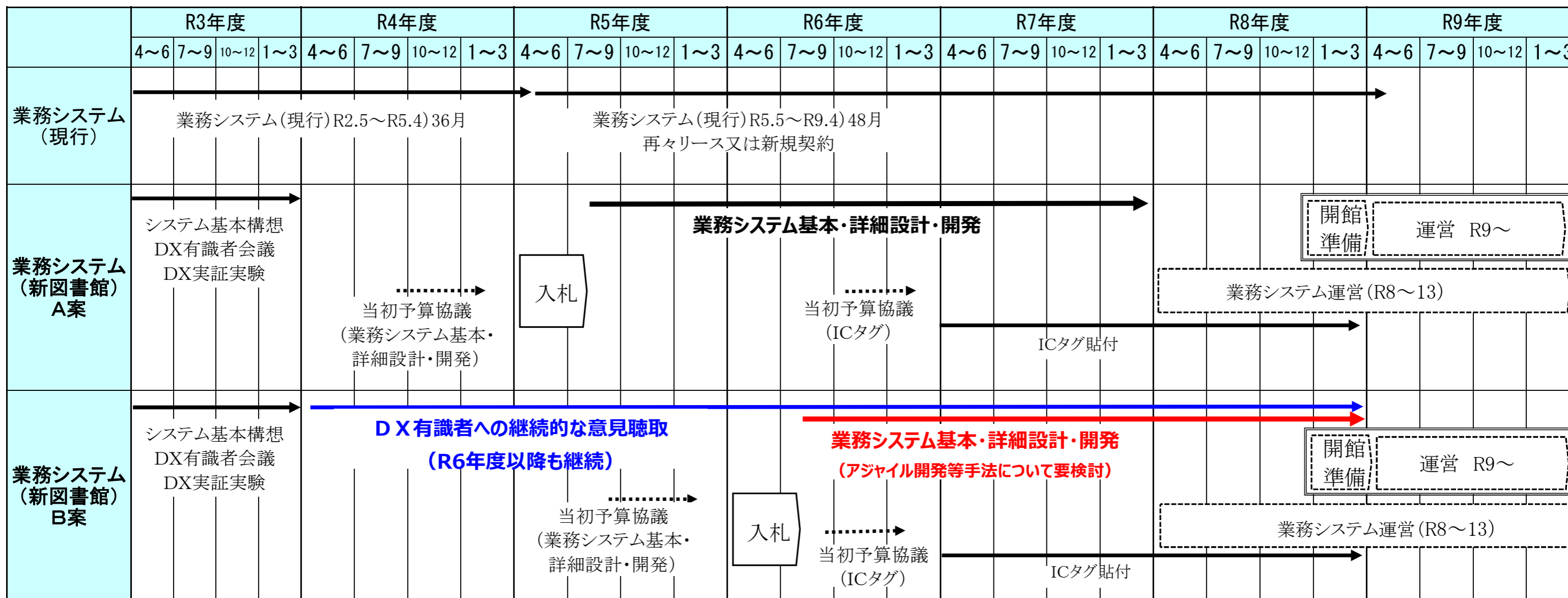
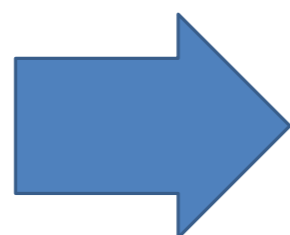


# <新県立中央図書館 システム構築スケジュール（案）>



## B案ポイント

- ・可能な限りシステム設計時期を先送り
- ・DX有識者の意見を継続的に聴取
- ・アジャイル開発方式を採用



**建築と情報のタイムラグを可能な限りなくす**

## アジャイル開発（概要）

アジャイル開発は、少しずつ反復的に作り進める開発スタイルを言う。本資料では、アジャイル開発の1つとされ、国内外を問わず、適用されていることが多いスクラムを取り上げる。

- ・プロダクトオーナー、スクラムマスター及び開発者からなるチームを組成
- ・発注者は、開発対象プロダクトに関する要求事項及びその優先順位について、受注者と協議（この要求事項及び優先順位は、協議のうえ変更ができるものとする）
- ・スプリント（開発のための区切られた期間）を反復し、各スプリント終了時に成果確認をしつつ、開発
- ・契約方式を検討する必要性あり

